

## 謹賀新年

謹んで新年のお慶びを申し上げ  
併せてご家族皆様のご多幸をお祈り致します  
平成28年 元旦

阿部敏雄(敏翁)

さてここ数年、年の初めに旧年の年次報告的なやや長文の賀状を纏めていますが、  
今回も引き続いて近況報告を纏めてみました。  
ご笑覧頂ければ幸いです。

一昨年から触れていた「酒場放浪とカラオケ」や「珈琲の研究？」などもそこそこやっ  
て後で触れたいと思いますが、小生にとって旧年中最大のトピックスは「仏説大東亜戦争」なる私論を  
纏めた事だと思っています。

### I. 仏説大東亜戦争

戦後70年を迎えた去年は、安倍談話など賑やかでしたが、それに促せられる様に私も及ばず  
ながら以下に記すような私論の構築を試みてみました。

アカデミズムの世界では、大東亜戦争の目的が東亜の開放であるというのは正確ではないという  
事になっているようですが、私は日本民族の深層心理とその形成の一端を探り、その観点から  
見たかったのです。

それは、大東亜戦争は、日本民族が東亜の開放を  
念じて行った「捨身供養」であるという新説です。  
詳細はこのホームページに、このウェブ年賀状  
に次いで掲載されています。

尚、右の画像は、法隆寺にある国宝玉虫厨子に描かれ  
ている「捨身飼虎図」の明治時代の模写です。  
(在・東京国立博物館)

ホームページ版では、「捨身飼虎説話」(出典は  
『金光明経』「捨身品」)の和訳、及び  
この図と日本人の深層心理の関係についての考察  
などもご覧頂けます。  
私論では、身を捨てて飢えた虎の命を救った薩埵王子  
(釈迦の前世の姿)に日本民族を見立てたのです。

この新説が広く世に受け入れられる事は無かろう  
と思いますが、小生としては「翁」らしい言葉が  
一つ吐けたとの秘かな自負を感じているところです。



て

## II. 酒場放浪とカラオケ

東芝材遊会のカラオケ部会が2013年秋から始めている「酒場放浪とカラオケの会」は続いていて、旧年中には4回開催しています。

4月3日 JR大井町駅近くの「釣り仲間」 (0016)

8月19日 JR大森駅近くの「とん兵衛」 (0018)

10月20日 京急川崎駅近くの「丸大ホール」 (0017)

12月10日 京急生麦駅近くの「魚河岸」 (0019) ( )内番号の意味は後述

それぞれの店で呑んだ後、川崎・貝塚にある「メロデイハウス」でカラオケを歌うのは変わりません。ここでは10月20日の様子をご覧に入れます。(画像編集はいずれも佐藤幹郎さん)



各酒場での吉田類(「とん兵衛」だけは倉本康子)の呑みっぷりの放送(BS-TBS)録画は、小生のOneDrive「公開」でご覧頂けます。各店のファイル名の頭に付けた番号が上記( )内番号なのでそれを参考にお探し下さい。我々の呑みっぷりも多分想像できると思います。

尚、OneDrive「公開」のURLは <http://sdrv.ms/1a27P9C>

ご覧になるには上記下線部をクリック願います。

## III. 珈琲の研究

旧年中の珈琲研究最大のターゲットは、一昨年珈琲屋「バッハ」で飲んだパナマ・ドンパチ農園の「ゲイシャ」の風味に匹敵する焙煎法の開発でした。

バッハで呑んだゲイシャがどんなものかは、下の赤枠をクリックでご覧頂けます。

小生(敏翁)のブログ 「バッハ」 de 「ゲイシャ」 2014-05-25

しかし先日NHKで放映された「小さな名店」で「バッハ」で「ゲイシャ」を焙煎している様子が映っていましたが、最適焙煎時間の幅は約5秒と極端に短く、「ゲイシャ」の焙煎だけは社長の田口護さんが立ち会って行っているとの事でした。

それを小生の手回し式の安物焙煎機で実現するのは困難と半ば諦めて居たのですが、歳末も近づいた頃、「スチーム焙煎」と焙煎豆を冷凍する事の組み合わせで可能になるらしい事を発見したのでした。

上記ブログ 「ゲイシャ」のスチーム焙煎 2015-03-26 掲載

上記ブログ 「ゲイシャ」の焙煎豆 新現象発見? 2015-12-27 掲載

既に出した年賀ハガキには、旧年中の珈琲の研究もマンネリ気味と書いたのですが、この新発見で

新年新しい検討への道が開けるかも知れないと、またやる気が出てきた小生です。